

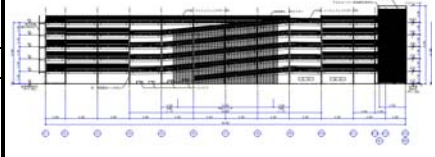
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオンモール堺鉄砲町 新築	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市堺区鉄砲町1番1の一部	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条の指定地域、南	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年9月1日
敷地面積	5,183 m <sup>2</sup>	作成者	國本 暁彦
建築面積	3,459 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	16,661 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	77%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	耐用性	対応性
N.A.	2.9	3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	まちなみ	地域性・
1.0	3.0	2.5

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.0	5.0	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

水資源	非再生材料の	汚染物質
N.A.	3.8	4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	地域環境	周辺環境
3.9	2.8	3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
立体駐車場棟とモール棟を外部ブリッジで繋ぎ利便性に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 駐車場部分の積載荷重3750N/m <sup>2</sup> とし、給排水管の更新性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 壁面緑化を行う。
LR1 エネルギー 照明にLEDを採用。	LR2 資源・マテリアル 電炉鋼材、再生クラッシュランを使用し、リサイクルに配慮している。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たし、広告物照明が無い。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)イオンモール堺鉄砲町 新築工事 立体駐車場棟	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区鉄砲町1番1の一部、29の一部、17番3.5、37番4、40番2、42番2、43番1.3、12.13、44番2	1.3	B+
	主用途/延床面積	工場 / 16,660.50 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.9	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		0.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		0.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	